

2024年10月11日

2024年9月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参、金融関連の動きがみられたものの、小ロット物件が中心で前年を下回った。
巻取についても学参、生損保、チラシに関連に大口物件がみられず前年を大幅に下回った。
(前年比 平判 93.7% 巻取 76.5%)

再生紙平判は役所、官公庁関連の入札案件の減少により前年を下回った。
巻取も定期物件以外は目立った動きもなく前年を大幅に下回った。
再生紙に関しては官公庁の再生紙離れが加速していることも影響していると思われる。
(前年比 再生上質平判 86.5% 再生上質巻取 65.5% 再生上質計 74.9%)
(前年比 印刷用紙 A 全体 90.3%)

<A2 コート>

平判は、イベント関連、インバウンド、カレンダー、学参関連のパンフレット等で一部動きがみられグロスは前年を超えたが、全体的には目立ったスポット案件がみられず、マットは前年を下回った。
巻取は、スーパーや食品デリバリー等で一部動きがみられたが、出版及び商印の動きが非常に悪く、グロス、マット共に前年を大幅に下回った。
(前年比 平判 101.5% 巻取 85.7% 全体 98.5%)

<A3 コート>

スーパーや食品デリバリー等で一部動きがみられたが、教育関連チラシの動きが悪く、カタログ等商印関連の落ち込みも大きく、平判、巻取共に前年を大幅に下回った。
(前年比 平判 87.3% 巻取 90.5% 全体 89.6%)

<ノーカーボン紙>

巻取は歳末商戦申込書の動きはあるものの、数量減。損保系帳票の動きも低調。平判は金融・生損保系の動きが乏しく、前年のインボイス絡みの手書き帳票の特需があった反動で大幅に前年を下回った。
(前年比 平判 67.1% 巻取 70.5%)

<上質フォーム>

生損保向けの控除証明ハガキの動きはあるものの、自治体案件が少ない時期で目立ったスポットもなく前年を下回った。
(前年比 93.3%)

<包装用紙>

純白ロールはお彼岸や連休向けの包装関連に動きが見られ、例年並みの動きとなった。

封筒関連では特殊両更、両更晒で役所向けに一部動きが見られたが、全体的な動きとしては低調で、包装紙全体では84.9%と昨年を下回った。

(前年比 84.9%)

<板紙>

コートボールは菓子類や日用品など未だ物価高の影響があり、土産物も含め低調であった。

特板は化粧品など原材料の高騰や、中国への輸出の減少などで低調であったが、OTC医薬は堅調であった。

チップボールは菓子向けの貼り箱用途は前年並みであったが、出版向け、エンタメ音響関連は8月に続いて低調であった。

全体は前年並みであった。

(前年比 100.3%)